



# 鹿島城址 旭ヶ岡公園



鹿島城址「赤門」



花のトンネル

佐賀県三大桜の名所のひとつ「旭ヶ岡公園」。一目五千本の桜のおこりは、1862年、松蔭神社の境内の一画に藩主鍋島直彬が多くの桜を植えて「衆楽園」と名づけ、毎年観桜の宴を開いたことを始まりとしている。この一帯はかつて北鹿島にあった鹿島城が1807年に移築された。しかしながら1874年、佐賀の乱でそのほとんどが焼失。炎上を免れた赤門（県の重要文化財）のみが残っている。1887年には、武家屋敷跡の白壁の残る城特有の曲がりくねった道（赤門～大手門）に桜並木がつくられ「花のトンネル」と呼ばれるようになった。また1914年、九州初の夜桜電飾を整備し一躍注目を集めた。近年では2007年2月にその歴史的・文化的価値や地域の象徴として認められ「日本の歴史公園百選」に選定された。1609年に鹿島鍋島藩が立藩されてから約400年、1807年に鹿島城がこの地に築城、翌年に赤門が建立されてより約200年の時が経過している。

旭ヶ岡公園の隠れたポイント紹介  
観光案内所前のクスノキは県の名木・古木に認定された、樹齢約210年の見事な大木です。  
赤門から少し下ったところには、珍しい緑色の桜「御衣黄桜」があります。

## 旭ヶ岡公園へのアクセス



交通手段  
JR 長崎本線：博多駅～肥前鹿島駅（特急 約60分）  
肥前鹿島駅から徒歩15分  
もしくはタクシー5分  
車：長崎自動車道 武雄・北方IC から約25分

【旭ヶ岡公園桜まつり】 3月下旬～4月上旬  
お問合せ先：鹿島市商工観光課  
電話 0954(63)3412  
鹿島市観光協会  
電話 0954(62)3942  
観光案内所は桜まつり期間のみ駐在いたします。

### 田澤義鋪之碑

鹿島の生んだ偉大な思想家であり、政治家。日本の青年団の生みの親であり、また政治浄化運動の先駆者でもある。

### 弘文館跡

江戸時代における鹿島藩の学校で「文教の地、鹿島」の発祥の場所。ほかに明倫堂もあり、今日の初等中等教育が行われた。

### 招魂碑

明治以降の戦争で亡くなった鹿島出身のすべての犠牲者の霊を祀る。

### 逆修碑

旭ヶ岡公園内の石碑の中では一番古いもの。建立年代は明らかでないが、この碑は「クニヤキョウ」と呼ばれ、非業の死をとげた一人の男の伝説がある。

### 原忠順翁頌徳碑

原氏はかつての鹿島藩最後の家老であり、貴族院議員に選出。家は典型的な武家屋敷として今も残っている。

### 楠社

幕末期の鹿島藩は勤王の志あつく、かつての忠臣楠正茂を崇敬し、明治三年この社を創祀した。

### 衆楽宴の碑

この地はもと衆楽園といい、多くの桜が植えられた。これがのち鍋島氏から払い下げられ旭ヶ岡公園へと発展した。

### 祖霊社

近き先祖は仏であり、遠き祖先は神である。神となった鹿島の人にすべてのみ霊を祀る。

### 鍋島直朝公追徳碑

鹿島三代藩主で鹿島の数多くの干拓、堤、水道などをつくり鹿島の産業発展につくした。名君中の名君。

### 鍋島直彬公の像

鹿島藩最後の藩主、のち、沖縄県知事、貴族院議員、鹿島の文教の発展に尽くし、人々に慕われた。

### 芭蕉句碑

江戸時代から、鹿島は俳諧の盛んなところであり、いくつかの結社があった。「木の下に汁も膽も桜かな」の芭蕉の句が裏面に彫られている。昭和13年建立。

### 谷口藍田記念の碑

有田出身の儒学者。藩主に招かれ、鹿島の人々の教育にあたる。門下から多くの人材が輩出した。書の大家としても有名。

### 県立鹿島中学校校歌碑

県立鹿島中学校は弘文館をもととして発展、いくたびか校名の改称を経て、今日の鹿島高校となる校歌の作詞者は「次郎物語」で有名な下村湖人。

### 田中鐵三郎寿碑

鹿島が生んだ最高の財界人。日銀理事、満州中央銀行総裁、朝鮮銀行総裁など歴任。鹿島高校の六州荘は氏の生家であり、昭和四十年に母校へ寄付された。

### 井原喜代太郎君頌徳碑

鹿島選出の衆議院議員、のちに県会議員に当選。鹿島銀行を創立し、南鹿島村の村長もつとめた。祐徳バスの前身、祐徳軌道設立にも参加した。

### 赤門

文化四年、鹿島城は常広の地からこの地に移転新築した。この城門は翌年五年に完工した。明治七年佐賀の乱で城郭は焼失したが、この門は残った。

### 愛野興一郎先生像

県議会議員や衆議院議員を長年つとめ、経済企画庁長官なども歴任。地域発展のために大きく貢献した。

### 「友よやすらかに」慰霊碑

昭和19年、大村の海軍航空廠に学徒動員されていた鹿島高等女学校と鹿島立教女学校のうち10名が空爆により亡くなった。50周年を記念して建立された鎮魂と平和の祈りの慰霊碑。

### 旭ヶ岡相撲場碑

鹿島市制30周年を記念して昭和60年に建立された。